

11月臨時会

11月30日臨時会が行われ
ました。

緊急を要する除染計画策定
事業等放射能対策関係及び台
風15号により発生した農地・
農業用施設、市道・河川等の
災害の復旧工事等に係る一般
会計補正予算について原案の
とおり可決されました。

- 放射能対策関係
8億611万8000円
- 台風15号関係
8億3535万9000円

平成23年度11月補正予算の概要

(単位：千円)

会計名	既定額	補正額	計
一般会計	35,413,403	921,477	36,334,880
補正されなかった 会計に係る額	18,722,826		18,722,826
合計	54,136,229	921,477	55,057,706

桑名市議会義援金持参

11月2日(水)に、友好都市の
三重県桑名市議会の佐藤肇議
長、水谷義雄副議長が来訪さ
れ、高橋市議会議長に桑名市
議会議員皆様からの義援金87
万円が手渡されました。

この義援金は、桑名市議会
議員29人が、議員報酬から毎
月1万円を3ヶ月間積み立て
したものです。

なお桑名市からは、いち早
く救援物資が届けられるとと
もに、市有建築物や農道等農
業用施設の災害復旧工事に係
る設計・積算工事監理等に係
る職員の派遣もいただしてい
ます。



桑名市議会を代表して佐藤肇議
長、水谷義雄副議長から義援金
が手渡されました

白河市・戸田市 友好都市議員交流会

11月11日(金)に、友好都市の
埼玉県戸田市議会と議員交流
会を開催しました。

戸田市とは、旧大信村が、
都市と農村の交流関係を発展
させるため平成5年に姉妹都
市の提携の調印を行い交流を
重ねてきましたが、本市の合
併に伴い、本市全域の交流拡
大を図るため、改めて平成19
年1月20日に友好都市調印が
行われました。

その後、大信地域を中心に、
戸田橋花火大会、戸田マラソ
ンなどの交流が続いておりま
す。

また、大震災直後にも関わ
らず、3月29日(火)には、戸田
市議会の伊東秀浩議長、鈴木
麗子副議長が来訪し義援金を
持参されています。

さらに、8月20・21日の第
37回「戸田ふるさと祭り」で
は白河市の特産物の販売プー
スを設けていただきました。
販売会を実施し、当市の復旧・
復興の助けをいただいております。

さて当日は、雨で肌寒い日

となりましたが、小峰城の石
垣崩落現場など大震災の被災
箇所や歴史民俗資料館企画展
「小峰城絵図の世界」を視察
しました。

引き続き、会場を変えて意
見交換会を行いました。
戸田市議会では、より開か
れた議会を目指し、平成15年
2月に議会改革特別委員会が
設置され、その後改選時に引
き続き特別委員会が設置され
ています。

山崎雅俊議会改革特別委員
長から、市民に開かれた議会
のあり方、委員会体制のあり
方、議員の服務、議事事務局
の体制等に係る議会改革の取
り組みについて講演をいただ
きました。

次に、白河市議会からは、
藤田久男副議長が、実態原発
事故に伴う風評被害の実態に
ついて、自身の農産物の直売
の現状や実態を踏まえた講演
がありました。

質疑・応答、活発な意見交
換会となりました。

情報交換会では、両市議会
議員及び事務局職員50人によ
る白河市民歌「このまちがす
き」を大合唱し、交流会が終

了しました。
意見交換会・情報交換会を
通じて、両市議会の絆を深め、
今後より一層の交流を促進す
ることの必要性を改めて認識
しました。



小峰城視察



意見交換会

「賠償対象 県内全域」に！ 市議会の取組み

賠償区域の拡大について

12月定例会は、12月7日に開会しましたが、当日の朝刊等で、「文部科学省の原子力損害賠償紛争審査会は6日に、東京電力福島第一原発事故に伴う自主避難の賠償指針が決定し、白河市を含む県南地域及び会津地域が除外された」との報道がありました。

これは、機械的に線引きを行い、県内を分断するものであり、容認することはできません。

市議会は、執行部とともに「賠償指針を見直し、精神的損害賠償の対象を福島県内全市町村、全県民とするよう」国等に要請する行動を起しました。

その一つとして、12月17・18日に、市議会議員による「東京電力福島原子力発電所事故に伴う賠償対象地域の拡大に関する要望書」の街頭署名を行い、3686人の方々から署名をいただきました。署名をいただいた皆様及び場所の提供いただいた各店舗様におかれましては、ご協力をいただきありがとうございます。

した。厚くお礼と感謝を申し上げます。

また、12月定例会閉会日には、委員7名から成る「放射能対策特別委員会」を設置し、これからの放射能被曝等の対策のあり方を調査研究してまいります。

市議会は、市民皆様の先頭に立って、この難局に立ち向かいますので、今後ともご支援をよろしくお願い申し上げます。

放射能対策特別委員会

設置目的	平成23年3月、福島第一原子力発電所の事故による放射能被曝等を踏まえ、白河市における対策のあり方について調査研究する
委員数 委員名	7名 ◎須藤 博之 ○戸倉 耕一 北野 唯道 縄田 角郎 石名 国光 飯村 守 深谷 弘 (◎委員長○副委員長)
設置期間	平成23年12月20日～平成25年6月30日

12月	行動内容	要請先・内容等	参加者
6日	賠償指針が示される		
7日	国に対し、賠償指針に対する抗議と県内全域を対象区域とすることを県に要請する等、今後の対応を協議	市役所 (福島県原子力損害対策理事)	西白河市町村長と議会議長
8日	賠償指針の対象区域を福島県全域に拡充する要望	福島県知事	県南9市町村長と代表議長
12日	福島県市議会議長会緊急要請	福島県知事等	福島県市議会議長会長等 白河市議長・会津若松市議長
13日	決議第1号 東京電力株式会社福島第一原子力発電所事故に伴う賠償対象区域の除外に抗議する決議文 意見書第8号 東京電力株式会社福島第一原子力発電所事故に伴う賠償対象区域を福島県全域とすることを求める意見書	内閣総理大臣 文部科学大臣 経済産業大臣 原子力損害賠償紛争審査会 原子力災害対策本部現地対策本部 東日本大震災復興対策本部	
17日 18日	街頭署名活動	署名数 3,686人 実施場所 ●ヨークベニマルメガステージ白河店 ●ヨークベニマル白河横町店 ●ベイシア白河モール店 ●白河市立図書館	議員延べ32名
19日	東京電力福島原子力発電所事故に伴う賠償指針の見直しを求める県南市町村長並びに議会議員緊急決起集会	東文化センター	県南9市町村長・市町村議会議長 県南9市町村議会議員 関係者等 計160人
22日	福島県内全域・全県民の「自主的避難等に係る損害」の確実な賠償に関する緊急要望 ●県選出国會議員に対する緊急要望活動 ●文部科学省(中川正春大臣)に対する緊急要望活動	県選出国會議員6名 中川文部科学大臣	福島県知事 福島県市長会長・福島県町村会長 福島県市議会議長会長・福島県町村議会議長会長等



12月19日 緊急決起集会



12月17~18日 街頭署名活動